

4. 「キャリアプランニングⅠ」の概略

前期「キャリアプランニングⅠ」では「職業人インタビュー」「科目選択」を中心に「目標設定」→「調査・探究活動」→「基礎学力・技能の育成」を進めてまいります。また、基礎学力の底上げと家庭学習習慣の定着を目指して、ベネッセ「マナトレ」を活用した英語の“学び直し”に取組みます。

後期「キャリアプランニングⅠ」では、10月末の来年度選択科目の「履修登録」を控え、入試制度や費用など進学理解を深めるとともに、今一度自己の能力・適性を見極め、職業理解を深めます。高校卒業・上級学校進学（または就職）という“出口”だけを近視眼的に考えるのではなく、10年後という中長期的な将来を見据えることで、自己のライフプランを企画・立案する能力＝キャリアデザイン能力を育成します。このライフプランの作成は、年内の①「ドリームマップ」作成（10年後の理想の自分の姿をイメージする）、年明けの②「フューチャープラン」作成（目標を達成するための具体的な行動計画）の2段階で進め、2月の年次発表会、全体発表会（総合学科発表会）をターゲットとします。

5. プログラム予定、運営体制 =基本は担任、プログラムにより年次担当も協力～

【前期】

日時	内容	場所
春季休業中	スタディーチャージ	自宅
4月13日(水)	キャリア教育ガイダンス(キャリアプランニング, 人間関係)	多目的(年次)
4月15日(金)	6限:「レッツ・スタート高校生活」	各HR教室(担任)
	7限:「職業興味検査(Prep-Y)」「性格検査(Capt-Y)」	
4月22日(金)	6限:「職業いろいろ発見」	各HR教室(担任)
	7限:「エピソード分析」	
5月6日(金)	「エピソード分析」発表原稿作成	各HR教室(担任)
	マイナビ「やりたいことを見つける」	
	4クラスずつで交代	ICT1～7(年次)
5月13日(金)	6・7限:「エピソード分析」クラス発表会(1人2分)	各HR教室(年次)
5月26日(木)	6限:《進路の日》 教育課程・選択科目説明, 進路別説明	アリーナ(年次)
	7限:科目選択シート配布	各HR教室(担任)
5月27日(金)	6限:ワーク「進学いろいろ発見」	各HR教室(担任)
	7限:SGE「どんな学部?どんな資質?」	各HR教室(担任)
6月3日(金)	6・7限:科目選択相談会	各会場(教科主任)
	マナトレ標準編(6～4級)「認定テスト」	各HR教室(担任)
6月10日(金)	6限:「職業インタビュー」ガイダンス(DVD視聴)	多目的(年次)
	7限:前期中間考査準備,「スタディサポート」返却	多目的(年次)
6月24日(金)	6限:「職業インタビュー」事前指導(礼儀・マナー講座)	多目的(年次)
	7限:職業インタビューを成功させよう	各HR教室(担任)
7月8日(金)	6限:模試事前指導,第1回「生活・学習実態調査」	各HR教室(担任)
	7限:「職業インタビュー準備シート」作成	
7月15日(金)	6限:「職業インタビュー」直前指導	多目的(年次)
	7限:履修計画(科目選択シート記入)	各HR教室(TT)
8月22日(月)	「職業インタビューレポート」提出	各HR教室(担任)
	マナトレ挑戦編(3～1級)「おかわりプリント」提出	

神戸市立須磨翔風高等学校

9月2日(金)	6限：マナトレ挑戦編(3～1級)「認定テスト」 7月模試返却	各HR教室(担任)
	7限：「職業インタビュー」発表原稿作成	
9月9日(金)	6・7限：「職業インタビュー」クラス発表会(1人5分)	各HR教室(年次)
9月16日(金)	6・7限：「職業インタビュー」年次発表会(クラス代表)	多目的(集会)
9月30日(金)	6限：前期総合自己評価(ポートフォリオタイム)	各HR教室(担任)
	7限：個人ポートフォリオ作成，期末考査ふり返り	

今年度のポイント・改善点

- 科目選択でのコンピュータ登録は，後期一回だけになりました。
前期(7月)の「履修計画」では，「科目選択シート」での記入までとなります。後期(10月)の「履修登録」時には，全員がコンピュータへの登録を行います。
- 職業探索サイトが変更になりました。
一昨年の「ジョブジョブ・ワールド」に続いて，厚生労働省の「キャリア・マトリックス」が事業仕分けにより廃止されました。これに代わるものとして，毎日コミュニケーションズが運営する「マイナビ やりたいことを見つける」を使用します。
- 英語の“学び直し”に取り組めます。
中学時の英語の定着度の低い生徒が多く，分散授業の効果が上がりにくいことから，中学での学習内容の“学び直し”として，ベネッセ「マナトレ」標準編・挑戦編に取り組ませます。1日1枚の教材を自宅で学習させ，各級終了後に校内で修了証を発行し，学習意欲・継続意欲を喚起します。また，各コース終了後に認定テストを受験させ，定着度を確認します。

【後期】

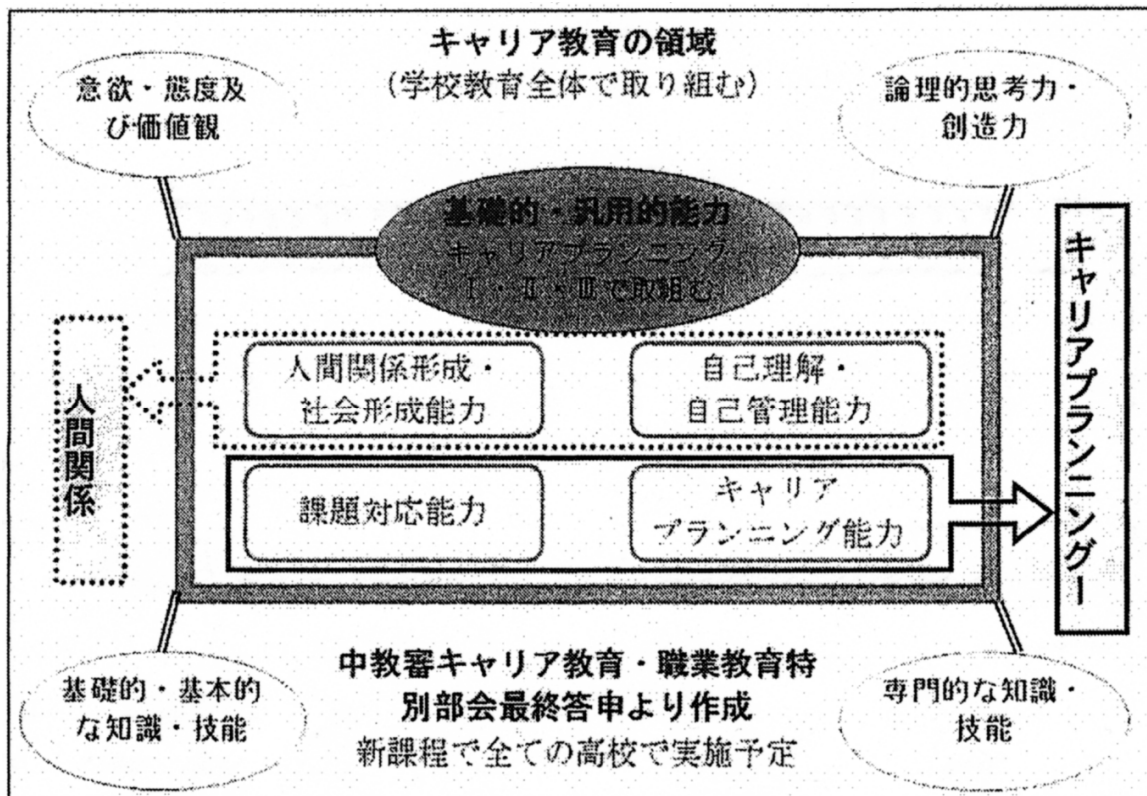
日時	内容	場所
10月14日(金)	進学理解「入試制度・費用」(テスト形式)	各HR教室(担任)
	進学理解「入試制度・費用」(調査)	ICT1～7(年次)
10月21日(金)	6限：職業理解「職業とキャリアプラン」	各HR教室(担任)
	7限：科目選択最終説明会(教科別)	多目的(年次)
10月28日(金)	6限：履修登録	ICT1～7(年次)
	7限：SGE「ライフR.P.G.」	各HR教室(担任)
11月4日(金)	6限：自己理解「夢の原点(スタート地点)を探す」	各HR教室(担任)
	7限：自己理解「夢の可能性を広げる」	
	*「あの人の26歳」ガイダンス	
11月11日(金)	6限：ドリームマップ作成準備「スタートから見た人生」	各HR教室(担任)
	7限：ドリームマップ作成準備「エンディングから見た人生」	
	*分野別講義希望調査(2月分)	
11月18日(金)	6・7限：「あの人の26歳」クラス発表会(2分×40人)	各HR教室(年次)
11月25日(金)	6・7限：ドリームマップ作成	各HR教室(担任)
12月2日(金)	6・7限：ドリームマップ発表原稿作成	各HR教室(担任)
12月16日(金)	6・7限：「ドリームマップ」クラス発表会(2分×40人)	各HR教室(年次)

神戸市立須磨翔風高等学校

1月13日(金)	6限：フューチャープラン(行動計画)作成 *分野別講義希望再調査(2月分)	各HR教室(担任)
1月20日(金)	6・7限：フューチャープラン(行動計画)発表原稿作成	
1月27日(金)	「フューチャープラン」クラス発表会(1人5分)	各HR教室(担任)
2月3日(金)	「フューチャープラン」年次発表会(クラス代表1人5分)	多目的(集会)
2月10日(金)	6限：第2回「生活・学習実態調査」, 後期総合自己評価 7限：個人ポートフォリオ作成	各HR教室(担任) 各HR教室(担任)
2月11日(土)	「フューチャープラン」全体発表会(総合学科発表会)	アリーナ(集会)
2月17日(金)	6限：大学・短大模擬講義(11系統別) 7限：職業別体験学習(11分野別)	各会場(年次) 各会場(年次)
2月24日(金)	6限：「1月模試」返却 7限：GTEC返却, 事後指導	各HR教室(担任) 多目的(集会)

6. 評価 ～ポートフォリオ評価と観点別評価～

キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」と「CPI」「人間関係」の学習活動



①評価の観点(能力)と評価規準

能力(観点)	評価規準
人間関係形成・社会形成能力	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な他者の考えや立場を理解することができる。 ●相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる。 ●自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たすことができる。 ●他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる。 ●自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意思等を的確に理解することができる。 ●他者の価値観や個性のユニークさを理解し、それを受け入れる。 ●異年齢の人や異性等、多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る。

神戸市立須磨翔風高等学校

自己理解・ 自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ●今後の自分自身の可能性を含め、「やればできる」と肯定的に自己を理解している。 ●自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、主体的に行動する。 ●自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする。 ●希望進路と現実の実力との差に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。 ●理想と現実との葛藤経験等を通し、様々な学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的役割を果たす。 ●自己の進路適性・能力を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。 ●困難を克服するスキルを身に付ける。
課題対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな社会的論争課題を発見することができる。 ●さまざまな社会的課題について調査・研究し、その争点・論点について整理・分析する。 ●情報及び情報手段を主体的に選択し活用することができる。 ●適切な計画を立てて課題を処理し、解決することができる。
キャリアプランニング能力	<ul style="list-style-type: none"> ●体験学習を通して、学ぶこと・働くことの意義や役割を理解している。 ●体験学習を通して、学び方・働き方の多様性を理解している。 ●自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付けている。 ●上級学校の実際及び上級学校に進学するための手続き・方法などがわかる。 ●希望職種の実際及び希望職種に就くための手続き・方法などがわかる。 ●多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していくことができる。 ●生きがい・やりがいがあり、自己を生かせる生き方や進路を現実的に考える。 ●卒業後の進路について総合的・現実的な理解に基づいて検討し、次年度の科目選択をする。 ●希望進路と現在の實力との差に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解している。 ●希望進路の実現を目指して課題を設定し、その解決に取り組む。 ●選択結果を受容し、決定に伴う責任を果たす。 ●理想と現実との葛藤経験等を通し、様々な困難を克服するスキルを身に付ける。 ●上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験に取り組む。

②評価方法

生徒によるポートフォリオ評価	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒一人ひとりに「キャリアプランニング」ファイルを渡し、毎時間配布されたプリント類、資料、ワークシート、アセスメント結果等を蓄積させます。 ●学期末（前期・後期）に「ポートフォリオタイム」を設け、生徒自身に学習成果を振り返らせます（自己評価）。
教師による観点別評価	<ul style="list-style-type: none"> ●担任は生徒の自己評価を参考にしながら、学期ごと（前期・後期）に上記4つの観点から顕著な学習成果が認められると思われる項目を選び、適切な文章表現に変換して下さい。 ●項目の選択、文章への返還はコンピュータ（EXCEL）で行えるようにします。 ●年度末には前期と後期を合わせた総合評価を行い、指導要録評価とします。

評価資料とサイクル

